

背景・目的

市内の接ぎ木栽培では‘大長なんばんロングエース’が作付けされていますが、種子の入手が困難となった年もあることから、過去の自根栽培における品種比較試験で結果が良好だった‘伏見甘長’による代替の可能性について検討しました。

結果

評価ポイント

- ・ 現行のパックに収まるサイズであり、かつ、A品収量が多いこと
- ・ 甘長ナンバンとして出荷するため、辛みが少ないか全くないこと

収量調査	収穫期間	総収量 (kg/a)	規格内品 (kg/a)			規格外品 (kg/a)
			合計	うち A 品	うち B 品	
大長なんばんロングエース	5/23-9/30	444	421	239	182	24
伏見甘長	6/7-9/30	624	586	288	297	38

※A 品：果実長 12cm 以上 14cm 未満，果実径 12mm 以上 17mm 未満の健全果実

B 品：曲がり実，長果，太果，細果

規格外品：尻腐れ果，奇形果及び着色果

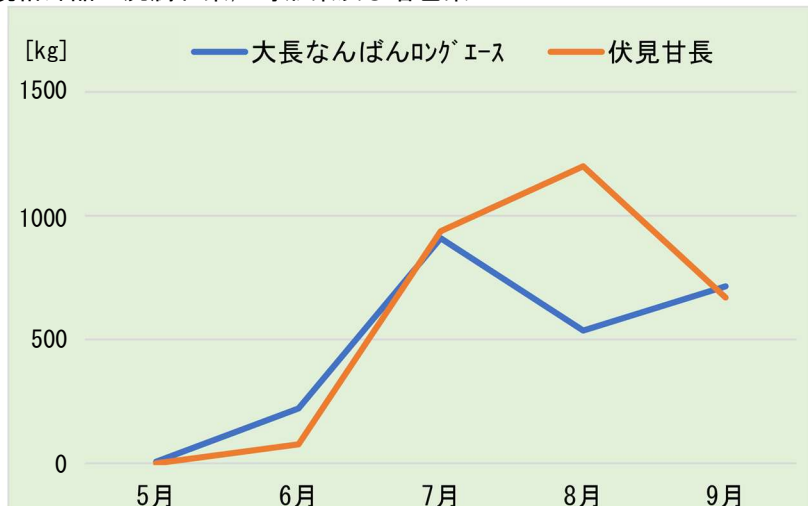
両品種共に購入苗（台木は‘台ちから’）を供試



‘大長なんばん
ロングエース’



‘伏見甘長’



A品の月別収量 (kg/a)

- ・ ‘伏見甘長’の総収量・A品収量は，‘大長なんばんロングエース’より多い。

特性調査	平均一果重 (g)	果実長 (cm)	果実径 (mm)	果実色 5 濃～1 淡	辛み 5 甘～1 辛	作業性 5 易～1 難
大長なんばんロングエース	8.6	12.6	14.2	3.0	3.0	3.0
伏見甘長	7.9	12.6	13.2	2.4	3.6	2.6

- ・ ‘伏見甘長’は辛みが少なく，現行のパックに収まるサイズだが，‘大長なんばんロングエース’より果実が細い。

結果の活かし方

‘伏見甘長’は‘大長なんばんロングエース’より規格内収量が多く，辛みが弱い点が優れています。

ただし，‘伏見甘長’は 収穫初期に B 品が多く 7 月までの収量性が劣ること，果実色が淡く，果実の採りやすさ及び整枝作業がやや煩雑で作業性がやや劣ることが営農的には不利になると考えられるため，導入に際してはこれらの点を考慮する必要があります。